



たなばたせんやさい たなばたまつ
七夕前夜祭・七夕祭り



7月1日に七夕前夜祭・7月7日に七夕と2つの行事がありました。

七夕前夜祭では高丘町の「この指とまれの会」の子ども達が高丘寮に来られ七夕にちなんだ歌を歌ってくださいます。ご利用者は、普段接することの少ない子ども達の元気な歌声に喜びながら、静かに耳を傾けられていました。

前夜祭が終わると「あと数日で七夕本番！また元気な笑顔と歌声に会える！」と皆さんの期待が高まります。

いよいよ7月7日の当日、お昼頃からご利用者はそわそわし始めます。いざ18時の本番！スタートすると楽しみにしていたはずが、緊張しているのか、後ろに下がってしまう方々もいらっしやいましたが、それでも子ども達の元気な「たけーにたんざく〜♪」の歌声を聞くとご利用者は手拍子で子ども達に負けなくらい元気なお出迎え。

子ども達と握手やふれあうご利用者の表情はとても優しく、積極的で、私達職員も共に嬉しく優しい気持ちになりました。用意をしていたお菓子も足りなくなりそうと心配するほど大勢の子ども達が来てくれました。

来年もまた、元気な笑顔と歌声を聞かせに来てくださいね！

※「この指とまれの会」とは、高丘町会の子も会が前身で現在は有志で施設訪問等の活動を行っている集まりです。



平成28年7月吉日

めぐりあい

社会福祉法人 函館厚生院
救護施設 高丘寮
発行責任者 石黒 司
編 集 澤村・矢野

ことし ほうさく たかおかのうえん
今年も豊作「高丘農園」



介護栄養士 村瀬 貴子

いよいよ今年も夏本番を迎え、ご家族の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

この時期は「夏バテ」しやすい時期でもあり、しっかりと栄養補給をして暑さを乗り切りたいものですね。

申し遅れましたが、ご利用者の栄養管理全般を担当している介護栄養士の村瀬と申します。

ご利用者にとって食事は、日常生活の中で楽しみのひとつでもあり、健康を維持し、季節を感じる献立や行事食などの企画を取り入れ、日々ご利用者と共に楽しく業務に励んでおります。

その中で今年も畑作業をご利用者と楽しく、汗かき行っています。近年、高丘寮では、「育てる」「作る」「食べる」を全てご利用者の方々に体験していただけることを目的として、まずは、「何を作りたい！食べたい！ですか？」の聞き取りから献立を決め、「そのためには何を育てましょうか？」と、こちら決めて野菜を植えました。今年も定番の「トウモロコシ」・「じゃがいも」となり、その他に「きゅうり」・「大葉」・「さやえんどう」等、最終的には「カレーライス」「シチュー」「いもの塩煮」が提供される予定で、豊作を願ってお世話を頑張っております。

これら一連の活動につきましては、先日（6月21日）、北海道救護施設職員研修会において報告を致しましたところ、他施設からも大変好評でした。更に、活動の幅を広げ、来年度の全国救護施設研究協議大会への発表に繋げて参ります。

今後の食事に関する記事や、今回の収穫・調理等の様子も皆様にお伝えしたいと思いますので、よろしくお願い致します。



<編集後記>

今年度の広報は、介護福祉士の澤村と支援相談員の矢野が担当します。

<澤村>めぐりあいの担当になりました。ご利用者の笑顔と一緒に楽しんでいる私達をお届けできるようがんばります！

<矢野>このめぐりあいと高丘寮のホームページ内のブログでご利用者、職員の様子をわかりやすくお知らせしていきます。（矢野）